

2022年6/26(日) 13:30~ 受付 12:45 沖縄県立博物館
開場 13:00 美術館(3F)講堂
料金:一般 500円 ※完全予約制 予約:海燕社 ☎ 098-850-8485 / ✉ mail@kaiensha.jp
(かいえんしゃ)



ふじ学徒隊



製作10周年記念特別上映会

2012年/カラー/ハイビジョン/ステレオ/48分
監督:野村岳也/製作:海燕社

ドキュメンタリー映画『ふじ学徒隊』製作から10周年を記念して特別上映します。

開催日の6月26日は、77年前のこの日、第二野戦病院、小池勇助隊長が「かならず、生き残れ。親元へ帰れ」と最後の訓示をし、ふじ学徒隊に解散命令を出した日です。

第32軍司令官牛島満の自決により日本軍の組織的戦闘が終了した6月23日(慰霊の日)以後に解散命令が出された唯一の女子学徒隊が「ふじ学徒隊」です。激戦の沖縄本島南部に従軍した他の女子学徒隊は米軍の包囲網の中で解散命令が出され多くの犠牲者を出しました。「ふじ学徒隊」だけは組織的戦闘が終了し砲爆撃がやんだ6月26日に解散命令が下りたため、ほとんど生き残ることが

できました。また「ふじ学徒隊」は最初に従軍が除隊が希望調書をとられたり、教師が学徒隊に同行していない等様々な点で他の女子学徒隊とは異なる戦争体験をしています。

また学徒隊だけでなく軍医も数名生き残ることができた部隊でした。

故野村岳也監督は「命どう宝」という言葉を最も体現化した学徒隊だと語っていました。

戦後67年に映画を製作して、この10年で、積徳高等女学校・ふじ同窓会は解散、映画で証言された仲里ハルさん、眞喜志善子さんの2名の学徒隊が亡くなりました。

ふじ同窓会の新垣道子会長、与儀尚子副会長、豊見城の避難民の証言をしていただいた大城正祺さん、そして、監督の野村岳也もこの世を去りました。

年々戦争体験者がこの世を去っていきます。戦争を

知らない世代が多くなっていきます。沖縄戦の風化が危ぶまれ戦争体験の記憶の継承が課題となっています。

戦後77年、映画製作から10周年を迎えた今年、多くの人に『ふじ学徒隊』を鑑賞いただき、『ふじ学徒隊』を通して一人一人のかけがえのない命の大切さ、平和な日常の尊さを改めて知ってもらいたいと上映会を企画しました。

コロナ禍、どう生きるべきか問われている今こそ全世代に観てほしいと思います。

製作10年目、戦後77年目の今こそ。

二度と戦争をしないために。

二度と命を奪ったり奪われたりしないために。

特別上映
『映画監督・野村岳也』
2020年製作/12分

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して上映致します。小中高校生は**無料**(但し予約必須)です。若い知人、友人、家族を誘って是非映画会へお越しください。皆様のご予約をお待ち致しております。

沖縄県の緊急事態宣言発令中(会場閉館の場合)は映画会は中止です

※上映会に参加の際は、マスク着用、検温、手指消毒にご協力ください。当日、熱、咳、だるさを感じたら、来場をお控えください。